

●レポート・論文作成「超」実用講座
第1回 即効入門編
ただの感想文じゃダメだったのか!?! の巻

仁上幸治 (にかみ・こうじ/総合教育センター准教授)
■2012年7月12日(木) 5限 16:30~18:00 (90分)
■MELIC 2階 情報学習室

0. イントロダクション



自己紹介

4

仁上幸治(にかみ・こうじ)

- 帝京大学総合教育センター准教授
 - 図書館学(司書、司書教諭)
 - 基礎演習 I・II (経済学部2年生必修)
- 教科書『よくわかるライフデザイン入門』(2010)第5章「情報の探し方」執筆
- FD委員/導入教育委員など

5

参加した動機は?

- 1年生
- 2年生
- 3年生以上

6

レポート・論文の書き方

- 教えられたことがある?
- 小学校・中学校・高校
- 大学入学後: ライフデザイン演習、基礎演習など

7

習ってみたい?

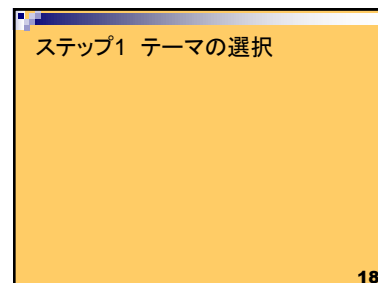
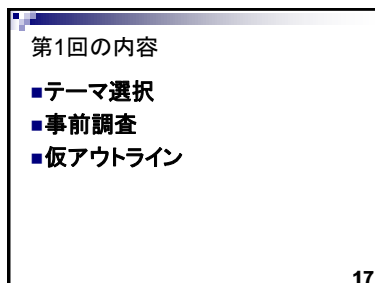
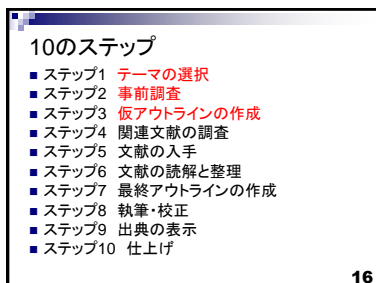
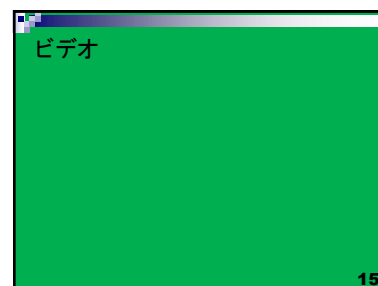
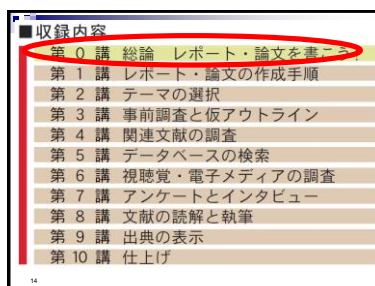
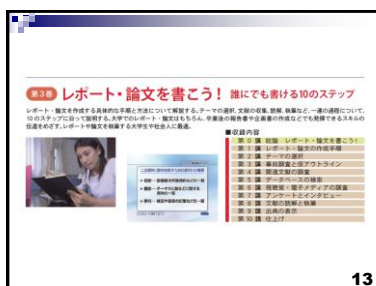
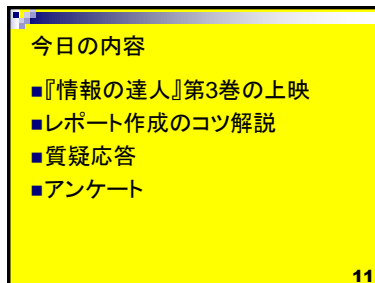
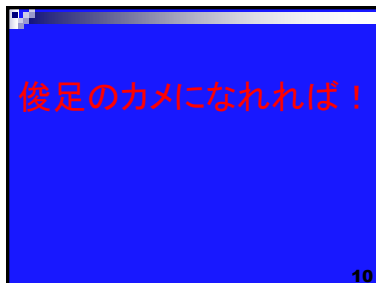
- 手順が面倒くさい?
- 簡単で時間がかからない方法なら?

8

ウサギとカメ

- ウサギ
 - 一気にダッシュ
 - 油断して最後に抜かれる
- カメ
 - 地道に着実な歩み
 - 最後に勝つ

9



■収録内容

第0講	総論 レポート・論文を書こう!
第1講	レポート・論文の作成手順
第2講	テーマの選択
第3講	事前調査と仮アウトライン
第4講	関連文献の調査
第5講	データベースの検索
第6講	視聴覚・電子メディアの調査
第7講	アンケートとインタビュー
第8講	文献の読解と執筆
第9講	出典の表示
第10講	仕上げ

19

桑田真澄選手

- 元プロ野球投手
 - 読売ジャイアンツ
 - ピッツバーグ・パイレーツ

20

- 桑田真澄『心の野球 超効率的努力のススメ』幻冬舎, 2010.6.
- 定価1575円(税込)

21




22



23

- 桑田真澄・平田竹男共著『野球を学問する』新潮社, 2010.3.
- 1,365円
- <http://www.shinchosha.co.jp/book/323961/>


24



25

- 桑田真澄『野球の神様がくれたもの』ポプラ社, 2011.3.
- 1,470円
- <http://www.poplar.co.jp/shop/shosai.php?shosekicode=80007030>

26



27

テーマの候補

- なぜ練習中に水を飲んではいけない？
- なぜ夜や土日でも練習づけ？
- もっと科学的で合理的な練習方法があるのでは？
- 指導者側に問題があるのでは？

28

調べてみよう！

- 自分が納得できるように
- 世間に訴えるために

29

調査方法

- 文献調査
- アンケート調査

30

「よいテーマ」を選ぶ

- ・広すぎず、狭すぎず
- ・調査・研究の意義がある
- ・三つの手順で

31

手順1 話題(トピック)を選ぶ

- ・授業で学んだことから
- ・生活のなかから
- ・自分の関心などに応じて

32

1.与えられたテーマ→自分の好きなトピック

■「自分流」OK

基礎演習 I (2009「文章表現」)

- 1. ギタリスト ブライアン・メイはカッコイイ！！—個性派ギターヒーロー—現れる 世界が愛したWe will rock you—
- 2. Bon Joviの売れた理由の考察—アルバム総売り上げ1億枚の歴史—
- 3. 歌唱の奥深さ:誰もが歌手になれるはず

34

- 4. ファッションと経済って関係あるの???
- 5. 走り続ける～勝つためには走れ～
- 6. 特待生問題—これからの特待生制度はいい...—

35

- 7. クエンティンタランティーノ—B級映画の巨匠—
- 8. 快適なインテリア—インテリア探しの旅—
- 9. 軽自動車—軽自動車の良さをわかって下さい—

36

- 10. カクテルの魅力
- 11. 麻雀
- 12. 少子化対策、経済活性に婚活！？—結婚難時代に救いの手を—

37

ステップ2 事前調査

38

収録内容

- 第0講 総論 レポート・論文を書こう！
- 第1講 レポート・論文の作成手順
- 第2講 テーマの選択
- 第3講 事前調査と仮アウトライン
- 第4講 関連文献の調査
- 第5講 データベースの検索
- 第6講 視聴覚・電子メディアの調査
- 第7講 アンケートとインタビュー
- 第8講 文献の読解と執筆
- 第9講 出典の表示
- 第10講 仕上げ

39

ウィキペディア

?

40

事前調査をする

- ・テーマの全体像を把握
- ・基本概念・用語を理解
- ・専門用語も整理

41



事前調査の情報源

- 入門書・概説書・教科書
- 年鑑・統計・白書
- ハンドブック・事典・辞書
- など

43

ステップ3 仮アウトラインの作成

44

仮アウトラインを作る

- ・「あらすじ」(骨子)を考える
- ・主張を理解してもらうために
- ・どんな材料を使うか
- ・どんな順序で並べるか
- ・できあがり(構成)を想定して
-

45

レポート・論文の構成例

- 序論...研究の背景・動機、目的、方法
- 本論...調査経過・結果、分析、考察
- 結論...主張、課題、展望

46

あくまで「仮」のもの

- 箇条書きで
- キーワードだけでも可
- 詳しくても可
- あとで修正

47

仮アウトラインの見本(仁上作成)

- テーマ: **クサガメ**
- タイトル:
クサガメの意外な生態
-マイペースな暮らし方を学ぼう-

48

① 序論

49

・研究の背景や動機(問題提起など)

- **新宿の路上でカメを拾った。飼っているといろいろな意外な事実がわかってくる。どういう動物なのか、どんな飼い方が適切なのか、飼うことによって、人間の生き方に役立つ教訓があるのではないか?**

50

・研究の目的(主張・仮説の提示など)

(主張)

- **クサガメの生態、歴史、飼育理論を整理し、誤解を明らかにし、ヒトとカメの新しい付き合い方を提案したい。**

(仮説の提示)

- 1)カメは意外に素早い
- 2)カメは遊ぶ
- 3)カメは偏食である

51

・研究の方法(調査など)

- **文献調査**
- **飼育体験記録の収集**
- **ブログでの飼育体験者ネットワークによる情報収集**

52

② 本論

53

・調査などの経過や結果

- **一般に人が良く知らないカメの誤解にはこういうものがある。(カメはノロい/カメは遊ばない/カメは何でも食べる雑食性、など)**
- **飼育法にも誤った通念にもとづくものがある(カメは水槽に入れておけばよい/カメは遊ばせなくて良い、など)**

54

・結果の分析

- カメに関する人間の常識には疑わしい面がある。
- 飼育法にも間違いがある。
-

55

・分析を踏まえた考察

- カメともっと楽しく付き合う方法がある。

56

③結論

57

・主張(問題に対する「答え」は何か(仮説は適切だったのか)など)

- 1)カメは意外に素早いことが確認できた。
- 2)カメは遊ぶことが確認できた。
- 3)カメは偏食であることが確認できた。

58

・残された課題

- 外国の文献調査
- クサガメ以外のカメの種類についての同様の飼育実態調査

59

・今後の展望など

- ブログの開設による飼育者ネットワークの構築と情報交換
- 図書としての出版による問題提起
- 賛同者の拡大による共同研究の推進

60

まとめ

- テーマを決めたら「下調べ」をして「あらすじ」を書く

61

10のステップ

- ステップ1 テーマの選択
- ステップ2 事前調査
- ステップ3 仮アウトラインの作成
- ステップ4 関連文献の調査
- ステップ5 文献の入手
- ステップ6 文献の読解と整理
- ステップ7 最終アウトラインの作成
- ステップ8 執筆・校正
- ステップ9 出典の表示
- ステップ10 仕上げ

62

ステップ10「仕上げ」まで終わると

63

図書館利用者プロフィールの再検討
 情報検索システム設計のための概念モデル
 仁上幸治 (SHIMAZU Koji)
 帝京大学大学院図書館情報メディア研究科 (卒業論文)

1. 研究目的
 近年、大学図書館の電子化・デジタル化の進展に伴い、図書館のサービスは大きく変革を遂げつつある。その中で、図書館のサービスは、従来の紙媒体からデジタル媒体へと移行している。この移行に伴い、図書館の利用者の行動やニーズも大きく変化する。本研究は、図書館の利用者の行動やニーズを把握し、図書館のサービス設計に活用することを目的とする。

2. 研究内容
 本研究は、図書館の利用者の行動やニーズを把握するために、アンケート調査やインタビュー調査を実施した。調査結果に基づき、図書館の利用者の行動やニーズを分析し、図書館のサービス設計に活用することを目的とする。

3. 研究結果
 本研究の結果として、図書館の利用者の行動やニーズを把握することができた。また、図書館のサービス設計に活用するための概念モデルを提案した。

4. 結論
 本研究の結果として、図書館の利用者の行動やニーズを把握することができた。また、図書館のサービス設計に活用するための概念モデルを提案した。

3.2. 出典別の差異件数
 表2. 日本語雑誌の差異分の出典別利用可能状況

出典名	所蔵有	契約EJ有	ウェブ公開有	合計
1 Jdream11	28	17	0	45
2 雑誌記事索引	13	3	1	17
3 引用	4	5	0	9
4 MagazinePlus	2	1	0	3
5 不明	18	16	0	34
合計	65	42	1	108

表3. 外国語雑誌の差異分の出典別利用可能状況

出典名	所蔵有	契約EJ有	ウェブ公開有	合計
1 Jdream11	28	17	0	45
2 雑誌記事索引	13	3	1	17
3 引用	4	5	0	9
4 MagazinePlus	2	1	0	3
5 不明	18	16	0	34
合計	65	42	1	108

3.5. 個人別差異率
 図2. 利用者資格別の差異件数

図3. 資格別平均差異率

この図は、利用者資格別の平均差異率を示しています。Y軸は平均差異率（0%から90%）を示し、X軸は利用者資格を示しています。平均差異率は、学部生が約10%、大学院生が約15%、教職員が約25%、社会人が約35%、外国人が約45%、他が約55%と、資格が上がるにつれて増加傾向にあります。

自分の学びの存在を振り返る
 謝辞
 筑波大学大学院図書館情報メディア研究科の永田治樹教授のご指導とゼミ生各位のご支援、友人知人による資料のご教示に感謝します。

注・参考文献
 1 高橋雅樹. 利用者のILLオンライン申込に伴う影響—キャンセル内容の分析を中心に—. 第12回 医学図書館研究会プログラム2005.11.14.http://www.dokkyomed.ac.jp/ih/keizoku/12-pro.htm
 2 岡澤和世(1987). 情報学講座/ノート:1. 敬文堂, 1987.
 3 藤道佐代子 (2005). 情報リテラシー教育の理論的枠組みと大学図書館における実践についての考察. 大学図書館研究 (75),pp.44-53, 2005.
 4 三輪眞木子(2005). 情報行動. 図書館・情報学研

論文の完成!

10のステップ

- ステップ1 テーマの選択
- ステップ2 事前調査
- ステップ3 仮アウトラインの作成
- ステップ4 関連文献の調査
- ステップ5 文献の入手
- ステップ6 文献の読解と整理
- ステップ7 最終アウトラインの作成
- ステップ8 執筆・校正
- ステップ9 出典の表示
- ステップ10 仕上げ

残りのステップを踏めば・・・の話
 ■ 続きは第二回講座で

(M)

まとめ

■ 第1回 即効入門編
 ■ ただの感想文じゃダメだったのか!? の巻

今日のポイント

- まず伝えたいことを明瞭に短く表現してみよう
 - 一箇条書きの主張を論理的につなげて並べるとはっきりするー

73

俊足のカメになろう!

74

研究成果の発表の方法

- レポート・論文
- プレゼンテーション(口頭発表)
- ホームページ
- その他

75

「情報の達人」として

- 興味・関心や必要性に応じて研究を発展・継続
- レポート・論文の作成力
- 情報リテラシーは、幅広く応用可能

76

学生時代の心得

- 情報リテラシーを磨き続ける
- 図書館を徹底活用する
- データベースを使い倒す
 - 学費のモトを取る!!(^^)!

77

授業と自習の中で

- ライフデザイン入門
- 基礎演習
- 一般教養科目
- 専門科目
- 資格科目:図書館課程など

78

おわり

ありがとうございました。

(^^)

>> 質疑応答

79

■ 質疑応答

80

■ アンケート

81